

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1202012

政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	14 芸術・文化の振興	事業優先度	B	
単位施策	2 芸術・文化活動の促進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	芸術文化公演事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	8 保育所	
事業指標	芸術文化鑑賞機会の充実		#N/A	
事業目標	保育所・親子及び小・中・高等学校・一般鑑賞会の開催	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計 画 内 容	○芸術文化鑑賞会の開催 ・保育所・親子一般の鑑賞会 ・小学校の芸術鑑賞会 ・中学校の芸術鑑賞会 ・高等学校、一般の芸術鑑賞会 ・文化公演会事業の開催(隔年開催)	保育所・親子一般芸術鑑賞会 小学校芸術鑑賞会 中学校芸術鑑賞会 高等学校・一般芸術鑑賞会	保育所・親子一般芸術鑑賞会 小学校芸術鑑賞会 中学校芸術鑑賞会 高等学校・一般芸術鑑賞会 文化公演会の開催	保育所・親子一般芸術鑑賞会 小学校芸術鑑賞会 中学校芸術鑑賞会 高等学校・一般芸術鑑賞会	保育所・親子一般芸術鑑賞会 小学校芸術鑑賞会 中学校芸術鑑賞会 高等学校・一般芸術鑑賞会 文化公演会の開催	保育所・親子一般芸術鑑賞会 小学校芸術鑑賞会 中学校芸術鑑賞会 高等学校・一般芸術鑑賞会	
計 画 事 業 費	事業費(千円)	13,375	1,475	4,475	1,475	4,475	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	300		150		150		
一般財源	13,075	1,475	4,325	1,475	4,325	1,475	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	10,433	1,156	3,580	1,254	3,481	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	500				500	
	地方債	0					
その他	1,052		159		893		
一般財源	8,881	1,156	3,421	1,254	2,088	962	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) ・入場料収入	【評価・実績】	(実施内容等) 保育所・小(1～2)・親子一般 参加者:217名 小学校(3～6)参加者:184名 中学校芸術鑑賞会参加者:187名 高等学校・一般芸術鑑賞会 参加者:146名 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 保育所・小(1～2)他参加者227名 小学校(3～6)参加者:183名 中学校芸術鑑賞会 インフルで中止 高校参加者88名 2年インフル欠 文化公演会 お笑いライブ 512名 らんま先生 50名 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 保育所・小(1～2)他参加者182名 小学校(3～6)参加者163名 中学校芸術鑑賞会参加者131名 高校参加者168名 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 保育所・小(1～2)他参加者202名 小学校(3～6)参加者:202名 中学校芸術鑑賞会参加者:123名 高校参加者146名 文化講演会 林家木久扇 201名 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 保育所・小(1～2)他参加者188名 小学校(3～6)参加者233名 中学校参加者157名 高校参加者148名 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	保育所等小中高一般の鑑賞会開催	保育所等小中高一般の鑑賞会開催	保育所等小中高一般の鑑賞会開催	保育所等小中高一般の鑑賞会開催	保育所等小中高一般の鑑賞会開催
		年度達成率	78%	80%	85%	78%	65%
		全体達成率	9%	35%	45%	71%	78%
		事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名	芸術文化公演事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係長	佐藤 公輔

平成24年度実施  
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	鑑賞会開催回数		
【抱える課題やニーズは】	各学校要望を積極的に設定することが課題である。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	芸術への興味や理解の促進		① 開催回数	目標年度	平成24年度
				目標値	4回
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	学校、文化団体及び町民が芸術文化の理解を深めることで、活動への意欲を促進する	②	実績値	4回	
			達成度	100.0 %	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	鑑賞会の開催	保育所及び小学1～2年生(演劇)、小学3～6年生(演劇)、中学生(演劇)、高校生(音楽)			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	芸術鑑賞の機会が少ないことで、他の地域との芸術文化に関する教養の格差が生じることから、より多くの芸術鑑賞の場を提供し、町民の芸術文化に対する知識等を高めるため必要な事業である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	町民及び児童・生徒の学年層に応じた芸術鑑賞の場を提供することができ、芸術文化に対する意識の向上を図ることができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	限られた予算において、事業執行の工夫を行いつつ、ニーズに沿った事業を実施することにより、芸術文化への意識と教養の向上が図られた。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

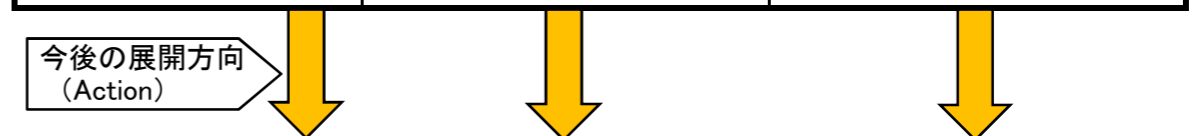
公平	判断の理由	事業の対象を町民及び町内の児童・生徒としており、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおり事業を実施することができ、期待する実施効果を得ることができた。		



継続/現状維持		
芸術鑑賞を通じて芸術文化に対する教養を身につけ、学校等でその成果が発揮できるように継続して場の提供をすることが重要であるため事業の継続が必要である。		

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止